

氏名：西川 <sup>にしかわ</sup> <sup>ひとし</sup> 仁史先生

所属・役職：甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授

## 経歴

1984年 信原病院入職（2008年まで）

1991年 兵庫県立播磨養護学校 非常勤兼任講師（2007年まで）

1993年 龍野市社会福祉協議会通所センターはばたき園 非常勤勤務（2002年まで）

1993年 ハリマ農業協同組合みどり診療所 非常勤勤務（2008年まで）

2008年 甲南女子大学入職（現在に至る）

2012年 神戸市立看護大学 非常勤講師（2012年まで）

2013年 京都橘大学非常勤講師（現在に至る）

2018年 甲南加古川病院非常勤勤務（2024年まで）

2023年 姫路大学看護学部非常勤講師（現在に至る）

## 学歴

1984年 長崎リハビリテーション学院卒業

2018年 放送大学（2019年まで）

2020年 神戸学院大学大学院 医療リハビリテーション学 修士取得

## 専門領域および専門/認定理学療法士の有無

専門領域：整形外科領域（主に肩関節）の理学療法

専門理学療法士分野：運動器

## 所属学会

（公益社団）日本理学療法士協会

（一社）兵庫県理学療法士会

（一社）日本理学療法学会連合 日本運動器理学療法学会

（一社）日本理学療法学会連合 日本スポーツ理学療法学会

（一社）全国大学理学療法教育学会

（一社）日本肩関節学会・日本肩の運動機能研究会

（一社）日本臨床スポーツ医学会

日本肩関節理学療法研究会

播磨メディカルチェック研究会

## 社会活動

- 1991年 兵庫県立播磨養護学校 自立活動担当兼任講師 (2007年まで)
- 1992年 (社)日本理学療法士協会主催 現職者講習会「肩の運動学と理学療法」講師 (2014年まで)
- 1997年 兵庫県理学療法士会 西播ブロック長 (2004年まで)
- 1999年 オリックス・ブルーウェーブ (現バファローズ) 春季キャンプ同行 (2008年まで)
- 1999年 第13回兵庫県理学療法士学会 準備委員長 (2000年まで)
- 2002年 第43回近畿理学療法学会 学会誌編集局長 (2003年まで)
- 2004年 (一社)兵庫県理学療法士会 理事・常務理事 (2021年まで)
- 2009年 第47回日本理学療法学会 準備委員会運営局長 (2012年まで)
- 2010年 (公社)日本理学療法士協会代議員 (2021年まで)
- 2010年 第1回アジア肩肘関節セラピスト学会 準備委員 (2011年7月まで)
- 2012年 第4回世界肩肘関節セラピスト学会 準備委員 (2015年4月まで)
- 2019年 臨床実習指導者講習会講師 (兵庫県士会) (現在に至る)
- 2022年 日本肩関節理学療法研究会 会長 (2023まで)
- 2024年 日本肩関節理学療法研究会 顧問 (現在に至る)

その他

## 著書・論文、その他

- ・ 理学療法 19「腱板断裂に対する術前・術後の理学療法」メディカルプレス (2002)
- ・ 理学療法 20「関節の障害および不安定性の検査・測定：肩関節」メディカルプレス (2003)
- ・ 運動・物理療法 15「野球肩の保存療法」日本理学療法医学会 (2004)
- ・ MEDICAL REHABILITATION17「肩甲帯障害リハビリテーション実践マニュアル」全日本病院出版会 (2002)
- ・ 理学療法 23「腱板損傷」メディカルプレス (2006)
- ・ 理学療法 23「肩関節周囲炎 (いわゆる五十肩) の理学療法」メディカルプレス (2006)
- ・ 理学療法 MOOK3 疼痛の理学療法第2版「関節腱板異常」三輪書店 (2008)
- ・ 実践 MOOK 理学療法プラクティス 肩関節運動機能障害「肩鎖関節炎・肩鎖関節脱臼の場合」文光堂 (2009)
- ・ 投球障害のリハビリテーション&リコンディショニング「投球動作の運動学的特徴」文光堂 (2010)
- ・ 理学療法 28「運動器疾患のみかた-的確・迅速な臨床推論のポイント：肩関節周囲炎」(2011)
- ・ Advances in Shoulder Surgery「Acromioclavicular Joint Dislocation」Springer (2016)
- ・ 教科書にない敏腕PTのテクニック 臨床実践 肩関節の理学療法「腱板を中心とした筋機能の改善 (術前・術後)」文光堂 (2018)
- ・ Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学「腱板断裂」メジカルビュー社 (2020)
- ・ 図解理学療法技術 G 第5版「Bankart lesion」(投稿中) 文光堂 (2024)

その他多数